

つながる被災者支援フォーラム in AOMORI

災害が起きたとき、困っている人に支援をしっかりと届けるためには、
地域の人々がつながり、連携することがとても大切です。
全国で広がる“つなぐ仕組み（災害中間支援組織）”を学びながら、
青森で私たちにできることを一緒に考えてみませんか。

定員 50 人
参加無料

- 日時 令和8年1月24日（土）13時～16時
- 会場 アピオあおもりイベントホール（青森市中央3丁目17-1）
- 対象 地域防災に関心のあるNPO・市民活動団体・企業・個人

●プログラム

●主催者あいさつ

●トークセッション「全国の実践例から学ぶ」

（一部オンライン）

<パネリスト>

◆認定特定非営利活動法人おはなしころりん

（岩手県大船渡市） 代表 江刺由紀子

◆特定非営利活動法人うわじまグランマジヤパン

（愛媛県宇和島市） 代表理事 松島陽子

◆しぞ〜か・まめっ隊

（静岡県静岡市） 代表 千代幸嗣

<コメンテーター>

認定特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク
（JVOD）事務局長 明城徹也

<モデレーター>

一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと

代表理事／青森県防災アドバイザー 小山内世喜子

●グループワーク「災害時の支援について考える」

●今後の動き



参加申込書は裏面にあります

【申込期限】 令和8年1月16日（金）

主催：青森県、社会福祉法人青森県社会福祉協議会、一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと

トークセッション 登壇者紹介

●パネリスト(団体)

【認定特定非営利活動法人おはなしころりん】(岩手県大船渡市)

2003年から絵本の読み聞かせや地元民話の紙芝居制作など、本を通じて笑顔や元気をつなげていく活動に取り組む。東日本大震災以降は読み聞かせの他に移動図書館を通じて、被災者の心のケアや地域の交流の場づくりを継続して実施。2025年2月の大船渡林野火災後には、子育て世代の居場所を設けた。子どもにとっては安全で安心な遊び場であり、保護者にとっては悩みを吐露できるくつろぎの機会となり、心理的なストレスの緩和や被災後の心の回復のための支援活動を実施した。

【特定非営利活動法人うわじまグランマジャパン】(愛媛県宇和島市)

愛媛県宇和島市を襲った「平成30年7月豪雨災害」。被害のあった場所や日々変化する状況を目の当たりにし、「今、私たちに何ができるのか」を問い続けた。そして、被災者の立場に立ったきめ細やかな支援を届けたいという想いから任意団体を立ち上げ、炊き出しや子ども支援に取り組んだ。現在は、災害対応で得た教訓を生かし、活動の領域を広げている。人口減少やそれに伴う財政悪化、貧困問題、地域間格差など、山積する地域社会の課題に対し、生活に密着した視点で解決に向けた活動を続けている。

【しぞ〜か・まめっ隊】(静岡県静岡市)

令和4年9月、静岡に被害をもたらした台風15号。静岡市災害ボランティアセンターにて床下作業などを行ってきたボランティアが集まりチームを結成。被災地域で必要とされる災害対応をボランティアで行っている。また、災害ボランティアの普及・啓発を目的に研修・講座も実施。

●コメンテーター

明城徹也(認定特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク

JVOAD 事務局長)

米国の大学を卒業後、建設会社勤務。その後、NGO業界に転身、難民支援などのプロジェクトに携わる。東日本大震災では、ジャパン・プラットフォームの職員として、発災直後より現地入り、被災者支援・復興支援に従事。JVOAD設立に際して、事務局長に就任。



●モデレーター

小山内世喜子(一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと 代表理事

/青森県防災アドバイザー)

1994年から男女共同参画社会づくり活動を実施。東日本大震災以降、「防災と男女共同参画」に取組み、これまでに35,000人以上を対象に避難所運営訓練等を全国各地で実施している。令和6年能登半島地震では1月14日から11回、支援活動に入る。



【申込方法】

FAX: 017-775-5313

E-mail: a_voad@aomori-mirainet.com

※件名に「つながる被災者支援フォーラム申込」と記入の上、
下記の①～⑤を記載し、メールしてください。

【申込期限】 令和8年1月16日(金)

申込フォームからもご応募できます。



<参加申込書>

①所属	※所属している団体・企業があればご記入ください		
②氏名	(ふりがな)		
③電話番号		④FAX番号	
⑤E-mail			

※記載いただいた個人情報は厳重な管理のもと本事業以外の目的には使用しません。